

KEY TOPIC

『地域みっちゃく生活情報誌®』発行26社が集結 第11回全国VCサミットを開催

10月11日(金)に名古屋市にて「第11回全国VCサミット」を開催しました。このイベントは当社が全国展開しているハッピーメディア®『地域みっちゃく生活情報誌®』の同志企業を招いて行うものです。サミットでは各種表彰や本部方針発表、課題別の分科会などを開催し、有意義な時間を共有しました。

集結した26社の同志に感謝し 情報誌発行の意義を共有

11回目の開催となる今回のサミットには『地域みっちゃく生活情報誌®』を発行する26社が全国から集結。「Data Driven (データドリブン)で広がる地域の未来~新しい仲間と共に~」をテーマとし、総会では新規加盟社の紹介や優秀誌の表彰、本部方針発表が行われました。

冒頭挨拶で当社の後藤一俊会長は、VC※各社のおかげで『地域みっちゃく生活情報誌®』ブランドが1,300万部を突破したことに触れ、約15,000人がこの仕事に関わり、約2,800人が制作に携わる事業に成長したことへの感謝を述べました。

同時に、広告とは人を動かすもので、人が動くには動機が必要であり、読者に対してそのような意思を持たせることのできる情報誌を創らねばならないと決意を表明。そのためにも情報誌を発行する意義を忘れず、共に地域課



題・社会課題に関して向き合っていくべきだと、#にっぽんオレンジシンボル運動への参加を呼びかけました。

独自AIの開発状況を公表 分科会は課題別に分かれ議論

続いて大島斉社長による本部方針発表では、新たな武器となる独自の文章自動生成AIシステム「CAI-解-」の開発状況を公表。CAIに原稿制作の一部を任せることで制作時間の短縮と営業時間の拡大につなげ、生産性と経営効率の向上を目指すことが語られました。

サミット後半は、経営者と現場を仕切るリーダーを中心とした2チームに分かれて分科会を実施。成功事例の紹介、各社が抱えている課題、取り組みに対する質問など、活発に意見を交

換。冒頭挨拶で後藤会長が話したように、人を動かす熱意・熱量を醸成する場となりました。

当社が展開するVC事業最大のメリットは、発行エリアを区切って担当の会社を分けることにより、VCに加盟する全社が競合することなく、姉妹誌の成功事例やメソッドを惜しみなく共有・活用できる点にあります。また、『地域みっちゃく生活情報誌®』ブランドは地域に深く根差した一誌一誌の集合体で1,300万部のネットワークを築いているチェーンですので、広域をターゲットとするクライアントに対しては、希望の地域を詳細に選んでいただく提案も可能となります。

一社ではたどり着けない、日本全国5,000万世帯配布という頂きを目指し、共に歩んでくださるVC加盟各社に、この場を借りて改めて御礼申し上げます。



VCサミットに参加した加盟各社の声

● 芯の部分でロジカルに緻密に組まれる会社なので安心してついていける

● 会社を超えて相談できる仲間がいることは、スタッフはもちろん経営者にとっても心強い

● 加盟して情報誌を発行するようになり一番良かったのは、社員のモチベーションアップにつながったこと

● 加盟間もないが、全国の成功事例や企画共有を活かすことで、すぐに大きな売り上げにつなげることができた

● 表彰式は次こそは自分たちも賞が取れるように頑張りたいと励みになる

● 自社だけではとても開発できそうにないAI搭載システムを活用できるのは加盟の大きなメリット

● 忙しくて情報誌の営業企画を考えたりする余裕がないときも成功事例の中から選べるので外すことがない

● 加盟してから雑誌づくりの哲学や今日使える営業ノウハウの共有をもらえ、社員の意識が変わってきた

※VCとはVoluntary Chain(ボランティア・チェーン)の略で複数の仲間が独立性を保ちながら、協同で企画・編集・営業・運営する組織

COLUMN

熱量

世の中を動かすのは情熱だ

「清流の国ぎふ」文化祭2024開催中

「清流の国ぎふ」文化祭2024が岐阜県で開催されています。「清流の国ぎふ」文化祭2024とは、第39回国民文化祭と第24回全国障害者芸術・文化祭の統一名称で、さまざまな文化活動が繰り広げられる祭典です。

文化祭の総合プロデューサーで東京藝術大学長の日比野克彦氏(岐阜市出身)は、「文化とは人の心の変化が集積した様相である。互いに心に作用し合う場には文化は育まれる」「文化に触れることは、自分の色が変わること。自分の色合いが揺れ動く」「文化と接することは人の色合いと接すること」であり、「自分の色が変わっていくのを感じる」と述べ、その色がその人の「らしさ」であり、その「らしさ」が地域の自然と相まって文化が生まれると語りました。

#にっぽん オレンジシンボル運動

11月は毎年、児童虐待防止月間です。昨年3月末日、厚生労働省に置かれていた「子ども家庭局」は「こども家庭庁」に統合され廃止されましたが、「こども家庭庁」による「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」は、今年も11月に実施されます。

しかし、児童虐待で死亡する子どもの数は年間50人以上、1週間に1人の子どもの命を落としています。年端もいかぬ幼児を、親やそのパートナーが殴り殺す悲惨な事件が後を絶ちません。

我が社も『地域みっちゃく生活情報誌®』を通して、児童虐待をなくそうと呼びかけて6年以上になりますが、痛ましい事件が起きるたびに、悔しい思いを重ねてきました。虐待かも、と思った人が「189番」に連絡してくれたら、子どもの命が救われるかも知れません。

事件事故だと思ったら110番、火事だと思ったら119番に連絡することは知っていても、189番は知られていない。虐待だと思って189番に電話を掛ければ、24時間以内に児童相談所の職員と警察と当該の行政職員が、その家庭に駆けつけ、親の悩みや家庭の実態に踏み込んで、解決を探る制度があることを知らない人が多すぎるのです。

私たちが6年以上、児童虐待防止を訴え続けてきても現実是不変な、社会に浸透しないことに対し、本当に情けなく思っています。

虐待事件が起き、政治が動き、児童虐待防止法が改正されてきました。しかし、まずは「虐待だと思ったら189番」なのです。ハッピーメディア®『地域みっちゃく生活情報誌®』1,340万部余り、知ってもらいたい。すべての国民に189(いちばやく)を覚えてもらいたい。中広グループ全スタッフは、ド真剣に取り組んでいます。

昨年からは「#にっぽんオレンジシンボル運動」を展開しています。日本中の街のシンボルをオレンジ色にライトアップ。昨年度は北は北海道札幌のテレビ塔から、南は沖縄琉球新報の社屋まで116箇所がオレンジ色に染まりました。「あれはなんだ?なぜオレンジ色なんだ?」とインパクトを与え、189番を認知してもらうための明確な運動です。日本国民が189(いちばやく)を覚えるまで、私は絶対に諦めません。



世の中を動かすのは熱量です

全国35都道府県182誌 全国VCサミット開催

10月11日、第11回全国VCサミットを名古屋で開催しました。同じ志を持った仲間が100名程集いました。私は同志・家族と呼んでいますが、この仲間とともに心を合わせ、覚悟を決め、全国35都道府県182誌、日本全国25%の世帯に「情報誌」をお届けしています。11月号の総発行部数は1,340万部超であります。

新たな仲間も加わって、1年ぶりのVCサミットでした。笑顔で再会、胸襟を開き、口角泡を飛ばし、膝を交え肩を抱き合い、目的を確認して方針を共有する。オンライン会議では伝わらない熱量が響いて、改めてリアルな良さを感じました。

我々が発行する『地域みっちゃく生活情報誌®』は紙の媒体です。印刷製本して、一軒一軒手配りでお届けする「超リアルメディア」

です。そのリアルが伝える人の思いや熱量を大切にしていきたいと思いました。リアルは最高です!

情熱は広告の原点 思考は現実化する

広告とは読んで字の如く「広く知らしめる」こと。広告とは「人が動く」ために行う告知であります。その告知の中に、人が動くための「動機付け」があるかどうかで広告の価値になります。

では、活性化とは何か。それは人が集うことです。人口減少が著しい田舎でも、盆や正月には都会へ出て行った子どもや孫が帰省して活性化します。日本に元気がない根本的な理由は、人口減少であることは言うまでもありません。ITやAIで効率や利便性は高められても、元気を取り戻すのはなかなか難しい。つまり、人の熱量でしか、人の元気は生まれないのです。

国民教育の父といわれる教育哲学者のもりのおさむ森信三先生は、師範学校の生徒たちに語った『修身教授録』の中で、情熱についてこう述べています。「そもそも人間の偉さは二つの要素から成り立っている。一つは豊富にして偉大な情熱であり、次にはかかる豊富にして偉大な情熱を、徹頭徹尾浄化せずんば己まぬという根本的な意志力である」と。

情熱とは、人間の偉大さを形づくるころの素材であり基礎なのです。情熱を浄化できれば、そこに人格活動が開始され人が磨かれます。感激や感動の心があるということは、人の魂が生きて生きている証拠であり、進歩する可能性を持っています。この情熱こそが、人を動かしていく広告の原点であると、私は信じています。

アメリカの自己啓発作家オリバー・ナポレオン・ヒルは『思考は現実化する』を著しました。自分がこうしたい、ああしたいと理想を描き、夢を持つ。その思いが本物であれば、その実現には人は熱くなり夢が叶う。それが「思考は現実化する」です。自分の思考は、自分の現実大きく影響するということです。

山々が少しずつ装ってきました。もっとも美しい11月です。児童虐待防止への思いを巡らしながら、人々の熱量、社会の熱量を上げるにはどうすれば良いのか。千思万考、やるべきことはまだまだあります。

冴え冴えとした山城にかかる美しい月を眺めながら。

13,403,279部

※情報は2024年10月発行号に基づき掲載しています。 ※VC発行エリアを念のため。 ※世帯到達率は配布部数を10月24日現在の各県が公表している世帯数で割り算し、一部レイアウト上の発行に伴い11月に流通していないものを含む。 ※発行日は月により変動する可能性があります。詳細はお問い合わせください。

Table of magazine data for Hokkaido (北海道), SORA, ぷりっはー, 豊平区・清田区南区版, 北区・東区版, 白石区・厚別区版, 西区・手稲区版, AO, 岩手県, 秋田県, 宮城県, 山形県, 福島県, 茨城県, and 千葉県.

Table of magazine data for Chiba (千葉県), にしも, こがも, Coupa, かす, ちいき新聞, 栃木県, おりっぴ, 群馬県, 太田フリモ, 桐生みどりアピ, 伊勢崎フリマ, 前橋フリモ, 高崎フリモ, 埼玉県, クッキーズ, とねじ, Na.ova, Sen, ARIFT, おまろ, 東京都, 福島県, 茨城県, and 千葉県.

Table of magazine data for Tokyo (東京都), 千葉県, ちいき新聞, 佐倉西版, 東葉版, 八千代台版, 習志野版, 船橋東版, 津田沼版, 習志野西版, 幕張版, 千葉NT版, 成田版, 佐倉東・酒々井版, 富里・八街版, 船橋北版, 鎌ヶ谷版, 船橋南版, 船橋中央版, 八幡版, 市川版, 船橋西版, 美浜版, 千葉北版, 若葉版, 四街道版, 千葉中央版, 稲毛版, 幕張版, 千葉南版, 市原版, 木更津・袖ヶ浦版, 松戸駅周辺版, 八柱・五香版, 新松戸・北小金版, 流山版, 柏中央版.

Table of magazine data for Kanagawa (神奈川県), 柏南版, 柏北版, 柏西版, 我孫子版, 野田版, 神奈川県, ARIFT, 新潟県, まさと下越!, まさと県央!, まさと上越!, 福井県, kirameki club, 山梨県, Parupi, たたひま, なないろ, 長野県, SARUBOBO, GUJO, maika, らせる, おりべ, Kanisan club, きらくらぶ, たんとん, GiFUTO, mintoup.

Table of magazine data for Aichi (愛知県), はしまる, Wao!Club, 静岡県, mydo, 三島市・清水町, 沼津版, 富士版, 富士宮版, 葵区版, 駿河区版, 清水区版, ふじえ〜ら, 愛知県, 名古屋市, NAGOYA, 中央版, 北山区, 中川区, 港区版, 南区版, 名東版, 天白版, 守山フリモ, 緑区フリモ, HANAMARU, ぶらりん, 西尾フリモ, アサヒトセ, ひまわり, Sun-GO club, KANA.U club, ゆいまろ.

Table of magazine data for Gifu (岐阜県), Cocon, ちる, 北知多フリマ, 安城フリマ, 岡崎フリマ, フォーカワ, Step, ひる, みるく, リトル, くれよん, 江南・大口・扶桑版, 岩倉・北名古屋版, 一宮・稲沢版, 清須・あま版, 海部・津島版, 三重県, ぽろ, おびろ, Bellve, リーガ, つっぴす, ほまほ, イテラ, さみこと, からっと, 滋賀県, boitejako, KONKI, オウティ, boitejako, KONKI, オウティ, ひまわり, Sun-GO club, KANA.U club, ゆいまろ.

Table of magazine data for Mie (三重県), 湖南フリモ, 甲賀フリモ, 京都府, びび, 大阪府, びび, 京阪北版, 京阪南版, 泉州版, さかに+, 和歌山県, まいよか, まいとん, 奈良県, かしろ, 鳥取県, つばさ, くらら, こはく, 広島県, ほうから, 香川県, マルター, 高知県, こぼろ, 福岡県, びんご, おおね.

Table of magazine data for Fukuoka (福岡県), マイタウン, 佐賀県, Toss, びび, 大分県, びび, 宮崎県, Palms, 沖縄県, 宮古ストーリー, 掲載レスポンス, 創業100年超の老舗米穀店を紹介。お米の楽しみ方や希少な商品を掲載して読者の関心を集め、QRコードの読み取り数は278回を記録。お米の価値を見直し、店舗に購入しに行く人もおり、反響に満足いただけました。8月号から毎月掲載の買取店。月70~80万円ほどかけて配布していたチラシは反響がなく、顧客層に偏りがありました。掲載後新しい顧客層を獲得し、情報誌をもって来店する人が増え、表回りへの増枠につながりました。情報誌見積サイト 「HAPPY MEDIA GUIDE」 全国で配布しているフリーマガジン「地域みっちゃく生活情報誌」への広告出稿の見積作成、問い合わせが可能!



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

この街を支える情熱に注目!

地域みっちゃく生活情報誌

地域を愛する人たちの街づくりへの想い

『ふぁみんぐくらぶ』周年月の10月号では、毎年恒例の地元への想いを語ってもらう企画を実施しました。今年は「街づくりへの想い」をテーマに、さまざまな分野で活躍する皆さんにインタビュー。土木、美容、イベント、スクールなど、幅広い業種の皆さんに登場いただきました。



普段、レギュラー企画やフリー広告ではなかなか接点の持てなかった皆さんからも、「この企画なら!」と賛同いただき、新たな可能性を感じることができました。「あの人からの紹介ならやらない」と、地域ならではのつながりから参加を決めてくださったケースもあり、改めて地域社会の絆の強さを実感しました。

当初2ページの予定だった企画は、多くの皆さんの熱い想いを受けて4ページに大幅ボリュームアップ。発行後も「この企画ならぜひ検討したい」といううれしい反響を多数いただいています。誌面づくりの新たな可能性を示すとともに、地域貢献への想いを共有できる貴重な経験となりました。

(ふぁみんぐくらぶ編集室・川尻)

「Bellve club」18周年記念企画

地域みっちゃく生活情報誌

地域のお店の協力でお得な「18」が勢ぞろい

「Bellve club」は9月号で創刊18周年を迎えました。これを記念し、18にちなんだ特典・サービスの提供店を紹介する巻頭特集「HAPPY18」を実施いたしました。



「タイトル通り、読者がワクワクするような内容にしたい」という思いをスタッフ全員が持ち、クライアントと一緒にどんな特典が良いかを考えて誌面づくり上げていきました。その結果「人気メニューが1,800円」「1,800円OFF」「ドリンク1杯18円」「18組限定特別コース」など、周年号ならではの特典が盛りだくさんの誌面が完成。全15店舗にご協力いただき、5ページにわたるボリュームのある企画になりました。

発行後は掲載店のQR読み取り数やクーポン利用数が日々増加し、「発行から1週間で約50人の来店につながった」「クーポン利用数が通常の倍以上になった」など、掲載クライアントから喜びの声を多数いただきました。これからも街の情報やサービスを積極的に紹介し、街と人、人と人をつなぐ役割を果たしてまいります。

(Bellve club編集室・伊藤)

地元プロサッカーチーム応援企画

地域みっちゃく生活情報誌

読者参加型コンテンツでFC岐阜を応援

『GIFUTO』9月号では、J3リーグで熱い戦いを繰り広げているプロサッカーチーム「FC岐阜」を特集しました。地元山梨県出身の注目選手・横山智也選手のインタビュー記事をはじめ、家族や友人と楽しめる多彩なイベントや、おいしいグルメ情報、試合を盛り上げるパフォーマンスチームを紹介。試合観戦だけではないホーム戦の魅力や、スタジアムの熱気、地域との強い絆を感じていただける内容に仕上げました。



試合に足を運べない方も一緒に応援できるよう、読者から笑顔の写真を募集し、モザイクアートフラッグを作成。9月14日の試合では、モザイクアートフラッグに応援メッセージを記入するリアルイベントを開催しました。約100人からのメッセージを集めたフラッグは試合会場に掲げられ、試合後にはFC岐阜に贈呈。地域全体が一体となってチームを応援するきっかけとなりました。

『地域みっちゃく生活情報誌』ならではの読者参加型のコンテンツや企画立案、プロモーションは、当社にお任せください。(GIFUTO編集室・恩田)

「女子大小路の名探偵 新章」プロジェクト

エンターテインメント

作品と共鳴する、感動的なブランド体験を

昨年10月に映画公開された『女子大小路の名探偵』。好評を受けて、続編プロジェクト「女子大小路の名探偵 新章」がスタートしています。現在はプロジェクトの基盤となる小説を、オフィシャルサイトにて連載中です。『地域みっちゃく生活情報誌』5月号より告知を開始し、多くの皆さんにご愛読いただいています。



本プロジェクトの特長は、プロダクトプレイズメントを活用している点です。従来の広告とは異なり、ストーリーの中に自然な形で商品やサービスを登場させるため、読者(ユーザー)にストレスを感じさせることなく、作品を楽しんでいただきながらPR効果を得ることができます。

連載後は書籍の出版を予定しています。さらに多くの方に届くように、書籍化から舞台化、さらに映像へと、さまざまな方式でコンテンツを展開させていく予定です。作品の世界観を活かした効果的なPRをご検討の際は、ぜひお気軽にお問い合わせください。一緒に魅力的な作品をつくり、サービスや商品をPRしましょう。

(クリエイティブ部・佐藤)

CHUCO CLUB

岐阜大学で情報誌作成を講義

今年で4回目となる、国立岐阜大学での講義。毎年、社会システム経営学環の1年生約30人に対して、情報誌作成をレクチャーしています。講義形式で発行の目的を共有し、いかにわかりやすく情報を伝えるか共に学び、グループワークから発表を行いました。

当社では、情報誌や販促ツールを作成してきた実績から、ノウハウをお伝えすることが可能です。お気軽にご相談ください。

(クリエイティブ部・佐藤)



2025年度 新卒者内定式を開催

10月7日、中広グループ18名の内定者が出席し内定式を開催しました。大島社長が歓迎の挨拶と「私たちの仕事は地域の未来を創る」という熱い思いを伝え、役員や先輩からは「失敗を恐れずに色々なことに挑戦しよう」と激励の言葉を贈りました。

ゲームワークや懇親会では、和やかな交流から緊張がほぐれ、笑顔が見られました。来春の入社を、社員一同心待ちにしております。

(人財開発担当・伊藤)



啓発ソング「189のうた」無料配布開始

児童虐待のない社会を目指し、子どもたち自ら助けを求められるよう、当グループでは189番を覚えるための啓発ソングを制作し、無料で配布いたします。楽曲制作は名古屋子ども未来全力応援アンバサダーも務めるステキナトリオの皆さんに依頼。歌は名古屋在住のほりいりほさんが担当してくれました。この「小学生向け189番周知プロモーション」と情報誌による啓発、11月の「#にっぽんオレンジシンボル運動」を含めた児童虐待防止運動は、文部科学省・こども家庭庁の後援活動です。今後皆様にご協力いただき、活動の輪を広げてまいります。(広報・マーケティング担当 岡本)



音源はこちらから視聴いただけます



VCTOPIC

茨城県 株式会社日宣メディックス

茨城県内全44市町村対抗、最強グルメ決定戦

全国トップクラスの食材王国である茨城県。しかし、その豊富さ故に、県を代表するような名物が少ないという課題がありました。そこで新しい名物を作ろうと、県内最大級のグルメイベント「シン・いばらきメシ総選挙2024」を初開催しました。

80店舗が出店し、ウェブ投票による県民参加型のイベントとして実施。県内発行5誌(『月刊ひたち』『月刊にしも』『月刊しがも』『月刊Couta』『月刊かしす』)を活用し、大々的なPRを行いました。運営面では、県とのやり取りに加え、全市町村との調整や保健所対応など、地域密着企業ならではの機動力を発揮。参加した県民からは、「ぜひ来年も実施してほしい」など多くの喜びの声が寄せられました。



▲茨城県発行5誌の表紙・巻頭にて掲載

部署だより NO.130

株式会社ケイ・クリエイティブ 『くれよん江南・大口・扶桑版』編集室



▲『くれよん江南・大口・扶桑版』編集室スタッフ

愛知県江南市・大口町・扶桑町で60,200部を発行する『くれよん』は、もうすぐ創刊12年目を迎えます。

江南市は名古屋市の北に位置し、伝統産業の繊維業が盛んです。木曾川沿いの自然やフラワーパーク江南など、家族で出掛けられるスポットが数多くあります。住みやすい環境が整っているため、子育て世代に優しい街でもあります。

扶桑町は濃尾平野の一部をなす田園地帯で、木曾川の恵みを受けた肥沃な土壌が広がっています。安定した地盤で災害にも比較的強いといわれています。

大口町は工業と住宅地が調和しており、トヨタ系企業をはじめとする製造業が盛んで、経済的に活発な地域です。

地域の皆さんの生活を、くれよんのようにカラフルに彩りたい。そんな希望を込めて名付けられた情報誌『くれよん』。若いメンバーを中心としたフレッシュなチームで、魅力あふれるこの街をさらに彩り豊かに盛り上げてまいります!

(くれよん江南・大口・扶桑版編集室 浅井)

編集後記

「♪いっちはっつきゅーいっちはっつきゅー 苦しくなったらかけてよね～」

「♪何をやってもしかられる～」

今期手がけた2曲の歌詞が頭から離れません。「189のうた」は、児童虐待防止を願って制作しました。耳に残るかわいらしい曲に仕上がって、今後各校で放送されるのが楽しみです。年を重ねても挑戦する尊さやエンタメで街を盛り上げたいというメッセージを込めた「何をやってもしかられる」は、街中やメディアで耳にする機会が増えています。2曲が皆さんへ届き、私のように口ずさむ人が増えることを願っています。11月はCHUCOgroup児童虐待防止運動#にっぽんオレンジシンボル運動月間です。今月も活動に賛同いただける方を募集中。オレンジ色の光が児童虐待を予防する希望の光となりますように。

(広報・マーケティング担当 岡本)

HAPPY MEDIA

『ままこっこと』

園児から家庭に直接届く子育て情報満載のフリーマガジン

【配布先】 県内全域の幼稚園・保育園・こども園
【設置先】 産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等
【仕様】 冊子A5版 オールカラー
【発行時期】 年4回(1月・4月・7月・10月)
【発行部数】 みやぎ版/25,000部 ちば(中部版)/50,000部 群馬版/60,000部 ちば(北西部版)/50,000部 埼玉東版/25,000部 岐阜版/60,000部

『Start!』

進路選びを応援する高校生のための就職応援メディア

【配布先】 高校
【仕様】 冊子A4 オールカラー
【発行エリア】 山形県、群馬県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、鳥取県



「講演会インフォ」

ゲスト講師、タレント選びからイベント企画立案、当日の運営までサポートするネットワークサービス

【対応エリア】 全国
【内容】 講演会・研修会・ウェブセミナー・コンサートの企画運営
【登録講師数】 7,000名
【年間実施件数】 400件以上

クーポンアプリ「フリモ」

ダウンロードはこちら (iPhone/Android)

フリーマガジンに掲載しているクーポンがスマホの中に! 切り取らなくてもスワイプで簡単に使える!

対応OS iPhone: iOS14.0以上 Android: 7.0以上
※ダウンロード数 461,350件(2024年10月26日現在)





県をあげた文化の祭典を各部署が一丸となってバックアップ 総合力で県の事業を成功へ

当社では「清流の国ぎふ」文化祭2024と清流の国ぎふ総文2024という、岐阜県の一大会の広報業務を受託しました。当社が持つ力を集結し、『地域みっちゃく生活情報誌』の掲載をはじめ、テレビ番組制作、YouTubeチャンネル管理、WEB制作、TikTok企画の運営など、広く県民に周知するためのPR活動を実施しました。

多彩なチャンネルで 二つの文化祭をPR

岐阜県では2024年10月14日から11月24日にかけて、第39回国民文化祭と第24回全国障害者芸術・文化祭が行われています。それぞれの文化祭が岐阜県で開催されるのは20年以上ぶり、県は「清流の国ぎふ」文化祭2024という統一名称を付けています。同時に、2024年7月31日から8月5日にかけては、全国高等学校総合文化祭も40年ぶりに岐阜県で開催されました。こちらは清流の国ぎふ総文2024という愛称です。当社は広告会社としての総合力が評価され、両文化祭を広く県民に周知し、盛り上げていくことを目的に、岐阜県から広報業務を受託しました。

広報業務の軸になったのは、岐阜県内で12誌、合計743,208部を発行(世帯到達率88.7%※)し、老若男女に親しまれる『地域みっちゃく生活情報誌』への記事掲載です。こちらは2023年11月号から2024年4月号まで計6回、見開きで展開しました。記事では両文化祭の多彩な情報をピックアップ。「清流の国ぎふ」文化祭2024へのイベントや広報キャラバン、県民運動などを取り上げ、清流の国ぎふ総文2024は総合文化祭の運営の一端を担う生徒実行委員会や各部門の活動の様子などを取り上げました。



岐阜県内で発行する『地域みっちゃく生活情報誌』全12誌で6か月にわたって展開した両文化祭のPR記事誌面。県民が両文化祭に興味を持ち、機運を醸成するための多彩なコンテンツを掲載しました

もう一つの軸が映像制作・放送です。こちらは両文化祭を紹介する『つなぐ〜清流文化をみらいへ〜』という15分の番組を制作し、岐阜放送で放映するというもので、2023年10月から2024年3月までの間に再放送を含

めて計26回放映しました。当社はプロデューサーという形で番組制作の舵取りを担当。清流の国ぎふ総文2024の紹介では県内各高校を訪れ、文化部の活動やブレ大会の取材を通して種目の説明、そして高校生のはつらつとした姿を伝えました。また「清流の国ぎふ」文化祭2024の紹介では、県内で文化活動を行っているキーパーソンの話を聞き、活動内容を伝えながら深掘りするなど、どちらも人にスポットを当てる構成で番組を制作しました。放映後には番組をYouTubeにアップし、インターネット動画経由で情報を取得する人に向けたWEBランディングページも用意するなど、単なる映像制作にとどまらない、多角的な仕組みづくりで情報の拡散を担いました。



上/岐阜放送で放映されたPR番組はYouTubeにも展開。さまざまな人に取材を行い、文化活動の詳細だけでなく思いも伝えました。下/PRブース運営の様子。イベントを通して県民と親しみ、両文化祭のPRを実施しました

また、当社はES(イベントセミナー)部を擁しており、リアルイベントを企画・運営できるのも大きな強みです。両文化祭の広報活動においては県内各地に赴き、ワークショップなどさまざまなイベントを通して県民と触れ合いながら両文化祭を周知するPRブースの運営を実施。県が指定する場所に計7日間、PRブースを展開し、多くの来場者を集めることができました。

他にも、自社アプリであるフリモアプリへのバナー掲出など、紙メディア、映像メディア、リアルイベント、WEBと、多角的なメディア展開で県の一大事業のPR活動を支えました。



TikTokで行った「清流の国ぎふ」文化祭2024テーマソング動画コンテストのインスタグラム用告知バナー

総合力を武器に あらゆるニーズに対応

今回の広報業務では、当社から岐阜県への提案でSNSの仕掛けを行ったことも大きなトピックスです。

「清流の国ぎふ」文化祭2024では、『君が明日と呼ぶものを』をテーマソングとしており、このテーマソングを県民、ひいては県外に向けてもPRしたいという思いから、サイト上で音源を配布したり、学校に案内したりと全県運動を実施していました。ただ、キャンペーンを行っていなかったため、当社から県へTikTokを使った周知・拡散キャンペーンを提案し、動画コンテストを実施しました。

音源との相性が良いTikTokですので、コンテストでは「踊ってみた」や「アレンジ」も許容して投稿を促進。動画コンテスト事務局の運営と特設WEBサイト構築のほか、インスタグラムと岐阜県内の『地域みっちゃく生活情報誌』誌面で告知を行い、コンテスト参加者を募りました。結果としては投稿目標数を上ることができました。

「清流の国ぎふ」文化祭2024と清流の国ぎふ総文2024のPR活動は事業規模が大きく、多岐にわたる内容を求められましたが、当社にはそれらに答える専門知識と技術、そして組織力があります。

地域の人々に読ませる・伝える技術を持ち、情報誌を毎月制作するFM事業部、クライアントのあらゆるニーズに応えるSP事業部と、オンリーワンを作り出すクリエイティブ部、事務局やイベント運営を専門とするES部、どのセクションが欠けても今回の広報業務は果たせず、それぞれが連携したからこそ結果を出すことができました。

今後も総合力を強みに、知恵を絞り、クライアントの多彩なニーズに応えて参ります。

※県内総発行部数は2024年10月号、県内世帯到達率は2024年10月24日現在の数値です

会社概要	商号	株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.) 東証・名証 証券コード [2139]	
	創業	1978年	
	資本金	4億430万円	
	従業員	442名 グループ全体 673名 (2024年10月末現在)	
事業内容	フリーマガジン事業 セールスプロモーション事業 クロスメディア事業	イベント・セミナー事業 通信販売事業 VC事業(ボランティア・チェーン)	
理念	広告業を通して「地域社会への貢献」	(地方創生に!)	
社是	人が命・人が宝・人が財産 機会損失の排除	(社員が輝く組織に!) (モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)	
社訓	飲水不忘掘井人	(感謝の心で!)	
グループ会社	株式会社中広メディアソリューションズ 株式会社ケイ・クリエイト 株式会社ケイビーエス 株式会社 関西ぼど	https://chuco-ms.co.jp http://www.k-create.co.jp http://www.post-kps.co.jp https://www.kansaipado.co.jp	

第47期 基本方針

スローガン	Data Driven	テーマ	全員経営
オフィシャル運営サイト	●中広企業サイト ●中広採用サイト ●中広VCサイト ●フリモ(WEB) ●講演会インフォ ●わくわく生活(楽天)他 ●販促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見積サイト) ●ハッピーメディア®児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク(JLMM)		
公式アカウント	●Facebook ●YouTube ●Instagram ●X(旧Twitter)	リンク集はこちら	
加盟団体	●JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会		



次世代育成支援対策推進法に基づく「くろみん」認定企業です 2017年取得
女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定企業です 2016年取得

営業拠点

<p>■ 本社 岐阜本社 岐阜市東興町27</p> <p>名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F</p> <p>■ FM・SP事業部</p> <p>《北海道》 SORA編集部 浦川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6169 旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-6158</p> <p>AO編集部 苫小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704</p> <p>《宮城県》 とみず!編集部 仙台市泉区泉中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809</p> <p>なうてい!編集部 名取市手倉田字廣訪532-1 1F西 TEL.022-797-8541</p> <p>さきっぺ!編集部 大崎市古川旭5-3-2 2F TEL.0229-25-8792</p> <p>《群馬県》 高崎フリモ 前橋フリモ編集部 高崎市新保町139-1 2F [高崎フリモ]TEL.027-353-8714 [前橋フリモ]TEL.027-353-8711</p> <p>伊勢崎フリモ 太田フリモ編集部 伊勢崎市茂呂町2-3522-6 TEL.0270-61-6117</p> <p>桐生みどりフリモ編集部 桐生市本町6-27-1 3F TEL.0277-47-7635</p>	<p>《福井県》 さくらぎくらぶ編集部 敦賀市野神40-277-2 1F TEL.0770-24-2622</p> <p>《岐阜県》 GIFUTO編集部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512</p> <p>SARUBOBO編集部 蒲川市下岡本町2967-2 TEL.0577-34-5579</p> <p>Wao!Club・mintoup はしまる編集部 大垣市加賀野4-1-13 [Wao!]TEL.0584-75-1960 [mintoup]TEL.0584-77-4088 [はしまる]TEL.0584-71-6226</p> <p>《宇都宮県》 UJJOプラス編集部 郡上市八幡町小野91-1 TEL.0575-67-0655</p> <p>たんとくくらぶ編集部 各務原市那加栄町14-1 TEL.058-380-6066</p> <p>きらっくらぶ編集部 関市山王通1-6-3 TEL.0575-24-4334</p> <p>かにさんくらぶ編集部 可児市今津字町1595-190 TEL.0574-25-7009</p> <p>おりへくらぶ編集部 多治見市太平町4-38 TEL.0572-21-2626</p> <p>らせるくらぶ編集部 土岐市奥西山町1-4 3F TEL.0572-55-2033</p> <p>maika club編集部 中津川市津川字上金1231-1 TEL.0573-62-2522</p> <p>官庁営業部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p> <p>《埼玉県》 クッキーズ・とねじね編集部 久喜市久喜中央2-8-23 3F TEL.0480-38-6881</p> <p>《東京都》 東京SP部 港区新橋2,16-1 9F TEL.03-6910-2940</p>	<p>EC部 大垣市加賀野4-1-13 TEL.0584-74-0745</p> <p>《愛知県》 NAGOYA FURIMO 各編集部 [中村・中川・港区版] 名古屋市中川区柳森町107 2F TEL.052-355-6111</p> <p>[中央・西区・北区・名東・天白・南区版] 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-433-1602</p> <p>緑区フリモ編集部 名古屋市長瀬町1-150 2F TEL.052-829-0270</p> <p>守山フリモ アサヒトセット・ひまわりくらぶ編集部 尾張旭市東本郷4丁目3-53 2F [守山フリモ]TEL.0561-42-5799 [アサヒトセット]TEL.0561-42-6981 [ひまわりくらぶ]TEL.0561-42-6971</p> <p>ゆいまるくらぶ・さんごくらぶ かなうくらぶ編集部 愛知郡東郷町北山台4-1-6 [ゆいまるくらぶ]TEL.0561-42-4850 [さんごくらぶ]TEL.0561-42-4895 [かなうくらぶ]TEL.0561-42-4855</p> <p>Cocoon club・ちるくらぶ 安城フリモ・北知多フリモ フリモかわら編集部 知多郡東浦町大字穂川字下汐田17-1 TEL.0562-85-1077</p> <p>リブル倶楽部編集部 犬山市松本町2-29 TEL.0568-39-6111</p> <p>岡崎フリモ編集部 岡崎市明大寺町字寺東9-1 5F TEL.0564-83-7121</p> <p>西尾フリモ・オレレンジクラブ編集部 瀬田郡幸田町大字芦谷字毛倉62 1F TEL.0564-83-7763</p> <p>名古屋SP部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-571-2139</p> <p>《三重県》 ぼろんくらぶ編集部 桑名市殿町10 TEL.0594-25-9988</p>	<p>Belle club編集部 鈴鹿市神戸1-10-10 TEL.059-373-4400</p> <p>よっかいちai編集部 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562</p> <p>つびっ〜ず編集部 津市栄町1-840 5F TEL.059-213-7666</p> <p>リー・カラブ編集部 名張市鴻之台3番町36-1 TEL.0595-41-0156</p> <p>ふぁみんくらぶ編集部 松阪市東町596 3号棟 1-A TEL.0598-31-3623</p> <p>イセラクラブ編集部 伊勢市岩濑3-6-5 2F TEL.0596-63-8282</p> <p>からっと倶楽部編集部 尾鷲市坂場西町2-34 2F TEL.0597-37-4100</p> <p>さみっくらぶ編集部 志摩市阿児町橋方2850-126 D号室 TEL.0599-65-7201</p> <p>三重SP部 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562</p> <p>《滋賀県》 はてじゃ倶楽部編集部 長浜市宮司町1161-7 2F TEL.0749-68-2577</p> <p>こんぎくらぶ編集部 彦根市長曾根町9-22 1F TEL.0749-26-0555</p> <p>アウトクラブ編集部 東栗原市手原5-6-19 TEL.077-596-3335</p> <p>ひわごと編集部 大津市浜大津2-1-35 6F TEL.077-521-3911</p> <p>《奈良県》 かしらくらぶ編集部 橿原市葛木町260-1 1F TEL.0744-48-0606</p> <p>《和歌山県》 まいなあが・まいとん編集部 岩出市高瀬84-2 2F TEL.0736-67-7630</p> <p>《鳥取県》 つばさ編集部 鳥取市吉方温泉3-860 2F TEL.0857-30-6446</p> <p>くらくらぶ編集部 倉吉市山根540-1 4F TEL.0858-27-0510</p> <p>こはくらぶ編集部 米子市西福原2-9-49 2F TEL.0859-21-5400</p> <p>《広島県》 はつカラ編集部 廿日市市新宮2-1-10 1F TEL.0829-833-6673</p> <p>《福岡県》 マイタウン西區版編集部 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-833-5250</p> <p>むなふ・おるね編集部 宗像市土穴1-3-34 1F [むなふ]TEL.0940-72-6101 [おるね]TEL.0940-72-6102</p> <p>福岡SP部 [北九州SP課] 北九州市小倉北区券町1-3-15 4F TEL.093-383-7581</p> <p>[福岡SP課] 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-400-6955</p> <p>《佐賀県》 月刊TOSS編集部 鳥栖市東町1-1064-15 1F TEL.0942-50-9619</p> <p>《VC事業部》 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p>	<p>■ グループ戦略統括事業部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-562-2139</p> <p>■ 管理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 [購買流通課]TEL.058-246-0285</p> <p>■ グループ会社 株式会社関西ぼど 本社 大阪市西区粉本町1-10-24 5F TEL.06-6479-3113</p> <p>北大阪支社 豊原川市大利町10-10 1F TEL.072-827-0817</p> <p>東大阪営業部 東大阪市下小阪2-14-16 3F TEL.06-6729-8101</p> <p>株式会社中広メディアソリューションズ 横浜支局 横浜市中央区真砂町3-38 5F TEL.045-225-9267</p> <p>埼玉支局 さいたま市南区南浦和2-39-16 3F TEL.048-767-8238</p> <p>仙台支局 仙台市若林区新寺1-2-26 5F TEL.022-792-8101</p> <p>山形オフィス 山形市諏訪町1-1-1 2F TEL.023-616-7390</p> <p>株式会社ケイ・クリエイト 本社 一宮市木曾川町里小牧寺東125 TEL.0586-86-0608</p> <p>東尾張支社 岩倉市新郷町1-50 2F TEL.0587-96-8331</p> <p>株式会社ケイビーエス 岩倉市新郷町1-50 2F TEL.0587-96-8336</p>
---	--	--	--	---

※従業員数はグループ会社含む ● 地域みっちゃく生活情報誌